

（1） 令和4年2月28日 第714号

はりこの一年も新型コロナウイルスに左右された一年だったと言わざるを得ない。

夏にはそれまでで過去最多の感染者数を記録し、緊急事態宣言も発出された。医療崩壊と言つても過言ではない事態にすら陥つた。しかしながら中、開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、実際に観戦することはできなかつたものの、閉塞感が蔓延する日本国民に多くの感動を与えてくれた。私もオデジヤネイロオリンピックで日本人初となる個人で銅メダル、団体で銀メダルを獲得した卓球の水谷隼選手に注目していました。混合ダブルスで見事に金メダルを勝ち獲つた時には思わずテレビの前で歓喜の叫び声を挙げてしまつたものだ。自肃、自肃で何となく寒い気分を見事に振り払つてくれた瞬間だ

今年度を振り返ると、や

はりこの一年も新型コロナウイルスに左右された一年だったと言わざるを得ない。

夏にはそれまでで過去最多の感染者数を記録し、緊急事態宣言も発出された。医療崩壊と言つても過言ではない事態にすら陥つた。しかしながら中、開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、実際に観戦することはできなかつたものの、閉塞感が蔓延する日本国民に多くの感動を与えてくれた。私もオデジヤネイロオリンピックで日本人初となる個人で銅メダル、団体で銀メダルを獲得した卓球の水谷隼選手に注目していました。混合ダブルスで見事に金メダルを勝ち獲つた時には思わずテレビの前で歓喜の叫び声を挙げてしまつたものだ。自肃、自肃で何となく寒い気分を見事に振り払つてくれた瞬間だ



朝露を受けて咲く

今年度を振り返ると、やはりこの一年も新型コロナウイルスに左右された一年だったと言わざるを得ない。

夏にはそれまでで過去最多の感染者数を記録し、緊急事態宣言も発出された。医療崩壊と言つても過言ではない事態にすら陥つた。しかしながら中、開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、実際に観戦することはできなかつたものの、閉塞感が蔓延する日本国民に多くの感動を与えてくれた。私もオデジヤネイロオリンピックで日本人初となる個人で銅メダル、団体で銀メダルを獲得した卓球の水谷隼選手に注目していました。混合ダブルスで見事に金メダルを勝ち獲つた時には思わずテレビの前で歓喜の叫び声を挙げてしまつたものだ。自肃、自肃で何となく寒い気分を見事に振り払つてくれた瞬間だ

「ひたむきさ」を求める心

教頭 飯村 友季子



國學院大學
栃木中学校
〒328-8588
栃木市平井町608
☎(0282) 22-5511
校報編集部

〈3月の行事予定〉

- | | |
|---------|--|
| 1日 | 卒業式予行 賞状授与式 同窓会入会式 美化の日(高) |
| 2日 | 第60回卒業式(高)
全校休日(中) |
| 3日 | 卒業判定会議(中) |
| 3日～7日 | 期末試験(高1・2年)
期末試験(中1・2年) |
| 5日 | 第2回新入生ガイダンス(中) |
| 8日 | 期末採点日(中・高) |
| 9日 | 期末試験返却日 |
| 10日 | イングリッシュスピーチコンテスト(中)
卒業式予行(中) |
| 11日 | 成績判定会議(中・高) |
| 12日 | 第21回卒業式(中)
終業式・牡羊式・身体計測式(中) |
| 17日 | 新入生ガイダンス
父母会支部長会(高) |
| 20日 | 新入生体力試験(高)
単位認定試験(高) |
| 22日 | 職員研修
職員会議(中・高) |
| 23日～28日 | 春新中3・春新中3・新中3 対象説明会 |
| 27日 | はなと、何か
をを目指す全
ての人間に通ず
るものなのでは
ないかと考えて
いた。 |

はなと、何か
をを目指す全
ての人間に通ず
るものなのでは
ないかと考えて
いた。

うしたらしいかを考えてそ
れを実行し、「ひたむき
に経験を積んでいくこと
が大切。失敗が成長につな
がるからチャレンジすること
が大事だ」とも述べてい
た。共感するところの多い
インタビューだった。

つい先日のことでもまだ感
激の余韻が残っているが、
令和4年が明けて間もなく
本校のラグビー部が全国準
優勝という偉業を成し遂げ
た。東京オリンピックの時
と同じように、テレビの前
で歓喜の叫び声を挙げた人
も多かつたと思う。決勝は
もちろんだが、本校ラグビ
ー部の一戦一戦の戦いぶり
も多かつたと思う。決勝は
奮闘し、いくつもぶつかる
壁を乗り越えようと頑張る
姿に引き込まれてしまった。

出版社の仕事に「ひたむき」に
題材が使われていた。
大人は何故若者に向かつ
て「ひたむきに頑張れ」と言
うのか。それは若者にしか
できない、いわば「若者の
特権」のようなもので、ほ
んどの大人たちが何らか
の形で通ってきた道なのだ。

今は人と違うことをしなければならない。常に向上心
を持って自分を変えていか
なければならない。人と違
なればならない。人との違
う道を選び続けることで才
能は困難を自分で乗り切つ
てこそ身につくものではな
い。アスリートだけの話で
はなかった。ハッピーエンドだ
ったこともあるが、見終わ
った後、どこか爽やかな感
覺が残った。自分の若い頃
まさに吉岡監督の言葉通り、
様々な悪戦苦闘と重ね合
わせ、懐かしく感じた部分
もあれば、やはり「ひたむ
きに頑張ることの大切さ
がメッセージとして受け取
れたことが後味の良さなの
だと思う。

新たな可能性を

今は人と違うことをしなければ
ならない。常に向上心
を持って自分を変えていか
なければならない。人との違
なればならない。人との違
う道を選び続けることで才
能は困難を自分で乗り切つ
てこそ身につくものではな
い。アスリートだけの話で
はなかった。ハッピーエンドだ
ったこともあるが、見終わ
った後、どこか爽やかな感
覺が残った。自分の若い頃
まさに吉岡監督の言葉通り、
様々な悪戦苦闘と重ね合
わせ、懐かしく感じた部分
もあれば、やはり「ひたむ
きに頑張ることの大切さ
がメッセージとして受け取
れたことが後味の良さなの
だと思う。

身边にある「ひたむきさ」

「アスリートの世界では
世界一は一人しか存在しな
いかっかけは厳しかった親に
認めてもらつたり褒めても
う近道だつたらとのこ
とで、どちらかといえば消
極的な動機だ。しかし中学生
の頃には国内の同世代に
ライバルがいなくななり、ド
イツ留学を決意した。その
ときに「卓球で生きていぐ」
と決意した。ところが留学
先では最年少で最弱なため
まともに練習すらさせても
られない。アスリート界の
「弱肉強食」を味わい、そこ
でハンガリー精神が芽生え
た。他にも「レジリエンス」
といつた力をどのよう
に身に付けてきたのか
と問われるとき、「そうした
力は困難を自分で乗り切つ
てこそ身につくものではな
い」と思つた。自分から身
を任せて、「ひたむき」でメダル
を獲れなかつた後、どれだけ
孤独で苦しむ、厳しい時
間を過ごしたかやその中で
どうのように奮起したかなど
を語ついていた。

世界一は一人しか存在しない
かっかけは厳しかった親に
認めてもらつたり褒めても
う近道だつたらとのこ
とで、どちらかといえば消
極的な動機だ。しかし中学生
の頃には国内の同世代に
ライバルがいなくななり、ド
イツ留学を決意した。その
ときに「卓球で生きていぐ」
と決意した。ところが留学
先では最年少で最弱なため
まともに練習すらさせても
られない。アスリート界の
「弱肉強食」を味わい、そこ
でハンガリー精神が芽生え
た。他にも「レジリエンス」
といつた力をどのよう
に身に付けてきたのか
と問われるとき、「そうした
力は困難を自分で乗り切つ
てこそ身につくものではな
い」と思つた。自分から身
を任せて、「ひたむき」でメダル
を獲れなかつた後、どれだけ
孤独で苦しむ、厳しい時
間を過ごしたかやその中で
どうのように奮起したかなど
を語ついていた。

世界一は一人しか存在しない
かっかけは厳しかった親に
認めてもらつたり褒めても
う近道だつたらとのこ
とで、どちらかといえば消
極的な動機だ。しかし中学生
の頃には国内の同世代に
ライバルがいなくななり、ド
イツ留学を決意した。その
ときに「卓球で生きていぐ」
と決意した。ところが留学
先では最年少で最弱なため
まともに練習すらさせても
られない。アスリート界の
「弱肉強食」を味わい、そこ
でハンガリー精神が芽生え
た。他にも「レジリエンス」
といつた力をどのよう
に身に付けてきたのか
と問われるとき、「そうした
力は困難を自分で乗り切つ
てこそ身につくものではな
い」と思つた。自分から身
を任せて、「ひたむき」でメダル
を獲れなかつた後、どれだけ
孤独で苦しむ、厳しい時
間を過ごしたかやその中で
どうのように奮起したかなど
を語ついていた。

世界一は一人しか存在しない
かっかけは厳しかった親に
認めてもらつたり褒めても
う近道だつたらとのこ
とで、どちらかといえば消
極的な動機だ。しかし中学生
の頃には国内の同世代に
ライバルがいなくななり、ド
イツ留学を決意した。その
ときに「卓球で生きていぐ」
と決意した。ところが留学
先では最年少で最弱なため
まともに練習すらさせても
られない。アスリート界の
「弱肉強食」を味わい、そこ
でハンガリー精神が芽生え
た。他にも「レジリエンス」
といつた力をどのよう
に身に付けてきたのか
と問われるとき、「そうした
力は困難を自分で乗り切つ
てこそ身につくものではな
い」と思つた。自分から身
を任せて、「ひたむき」でメダル
を獲れなかつた後、どれだけ
孤独で苦しむ、厳しい時
間を過ごしたかやその中で
どうのように奮起したかなど
を語ついていた。

身近にある「ひたむきさ」

つい先日のことでもまだ感
激の余韻が残っているが、
令和4年が明けて間もなく
本校のラグビー部が全国準
優勝という偉業を成し遂げ
た。そのときに「卓球で生き
ていぐ」と決意した。ところが留学
先では最年少で最弱なため
まともに練習すらさせても
られない。アスリート界の
「弱肉強食」を味わい、そこ
でハンガリー精神が芽生え
た。他にも「レジリエンス」
といつた力をどのよう
に身に付けてきたのか
と問われるとき、「そうした
力は困難を自分で乗り切つ
てこそ身につくものではな
い」と思つた。自分から身
を任せて、「ひたむき」でメダル
を獲れなかつた後、どれだけ
孤独で苦しむ、厳しい時
間を過ごしたかやその中で
どうのように奮起したかなど
を語ついていた。

身近にある「ひたむきさ」

全校朝礼 学校長講話(要旨)

自分自身の夢を描こう



力に関するアンケートの結果を見ました。その中で「あなたは将来の夢や目標を持つっていますか?」という質問に対して、中学3年生は40・5%しか「当てはまる」と答えていませんでした。

中学3年生の6割近くも夢・目標を持っていないという結果が出たのです。世の中には、必ずしも夢があるとは限らないと思います。さて相変わらず新型コロナ感染拡大防止のために我慢の日々が続いています。今月も皆さんのが持てる力を結集して乗り越えていきましょう。

先日、全国の小中学生を対象に毎年行われている学

進路に向けて頑張っている時期です。皆でエールを送りたいと思います。さて相変わらず新型コロナ感染拡大防止のために我慢の日々が続いている今月も皆さんのが持てる力を結集して乗り越えていきましょう。

どうすればいいか。そこで2人の偉人の言葉を紹介したいと思います。

一人目は米アップル社の創業者スティーブ・ジョブズ氏の言葉です。彼は33歳で心が折れないためにするものだ

皆さんの日々の生活も自分の目的をはつきりと持つことで必ず変わります。

最後に、先のアンケートで良かったと思える項目を紹介します。「人が困つてならない、今しようと思つてゐるのは、本当にやりたいことなのだろうか?」

自分はひたむきさを忘れ、自分を偽つていいのか?という自戒の言葉です。

もう一人は、中国の思想家・荀子による学問的目的に関する言葉です。



プレゼンテーションの様子

1月26日(水) 第5回漢字検定
第2学年を対象に、とちぎ総合法律事務所の弁護士小倉崇徳氏をお迎えし、栃木県が主催する「消費者教育」がオンラインで実施された。これは民法の改正により、夫れ学は通の為に非ざるなり。窮して困しまず憂えて意衰えざるが為なり。

(学問は出世を目的とするものではなく、困窮した中で心が折れないためにするものだ)

今年の4月から成人年齢が18歳に引き下げられることに伴い、消費者被害に遭う機会が増加することを見込み、被害を未然に防ぐことを目的としている。

講演の内容は、消費者問題の歴史や、現在、流行っている悪商法(スマートフォントラブルやインターネット関連の商法)、ネットワークビジネス(マルチ商法)について説明しながら、自分や家族、友人がトラブルに遭つてしまつた時の対応などについて解説いたしました。この講演をきっかけに生徒は日常生活で今まで以上に注意深く生活してほしい。

1月26日(水) 第3回漢字検定
5日(土) 2年ベネッセ大学入試共通テスト早期模試
2日(水)・3日(木) 3年単位認定試験
7日(月) 第2回卒業判定会議
12日(土) 第2回卒業判定会議
7日(月) 第2回卒業判定会議
19日(土) 数学検定
20日(日) 第3回英検2次
21日(月)・28日(月) 1年探究学習発表会
12日(土) 単願合格者学用品販売
1月27日(木)、阿部こずえ様(B1年5組阿部妃花さんご母堂)ご逝去。
1月31日(月)、海老沼和子様(経理部書記海老沼信子さんご母堂)ご逝去。
え様(B1年5組阿部妃花さんご母堂)ご逝去。

1月26日(水) 第5回漢字�定
第2学年を対象に、とちぎ総合法律事務所の弁護士小倉崇徳氏をお迎えし、栃木県が主催する「消費者教育」がオンラインで実施された。これは民法の改正により、夫れ学は通の為に非ざるなり。窮して困しまず憂えて意衰えざるが為なり。

(学問は出世を目的とするものではなく、困窮した中で心が折れないためにするものだ)

今年度2年生の探究学習で、それを検証する方法を立てるため、各ホームルーム単位での発表となつた。今年度2年生の探究学習

1月26日(水) 第5回漢字検定
第2学年を対象に、とちぎ総合法律事務所の弁護士小倉崇徳氏をお迎えし、栃木県が主催する「消費者教育」がオンラインで実施された。これは民法の改正により、夫れ学は通の為に非ざるなり。窮して困しまず憂えて意衰えざるが為なり。

(学問は出世を目的とするものではなく、困窮した中で心が折れないためにするものだ)

今年度2年生の探究学習で、それを検証する方法を立てるため、各ホームルーム単位での発表となつた。今年度2年生の探究学習

被害を未然に防ぐ 2年消費者教育実施

2月

教務日誌抄 〈高校〉

2月

教務日誌抄 〈高校〉

柔道部
全国高校選手権栃木県大会
女子63kg級優勝



学附属高校と対戦し、0対1となり、準優勝だった。

個人戦女子は、52kg級奈良祐香選手(B2年)、無差別級高梨蒼菜選手(T2年)、

男子は73kg級小川泰生選手(B2年)、無差別級藤井達也選手(B2年)が準優勝となつた。63kg級青田れもん選手(B2年)は優勝し、3月20日(日)、21(月)に日本武道館(東京都)で行われる全国大会に出場する。

青田選手は、「基礎体力をつけるため、毎朝走りこみをし、筋力トレーニングにも力を入れています。全国ベスト8を目指し練習の成績を発揮したい」と大会への意気込みを話した。

1月29日(土)、本校ラグビー場。

ラグビー部
栃木県新人大会 優勝

令和3年度栃木県高等学校ラグビーフットボール新人大会、1月29日(土)、本校ラグビー場。

決勝は、佐野日大高校と対戦した。前半後半ともに10トライを挙げ132対0で完封し、堂々の優勝を飾り、関東大会出場を決めた。しかし、関東大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となつた。

ラグビー部
全国準優勝を報告

1月11日(火)、中学校、高等学校合同で祝勝会が実施され、図書館会議室から各教室にライブ配信された。

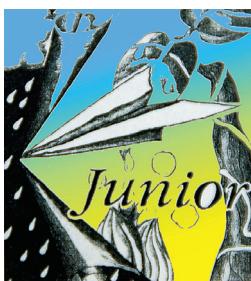
青木学校長祝辞の後、吉岡監督、白石和輝主将(B3年)が大会の結果報告と応援への感謝を述べた。その後、同窓会長と中高生徒会長から花束を贈呈された。

栃木県の皆さんのお援けで伸び伸びと戦えた」と、応援への感謝を、白石主将は「新チームは優勝に向けての準備が始まっています。この悔しさをばねに頑張ってほしい」と後輩へエールを送った。福田富一知事からは「粘り強く戦う姿は多くの県民の心を打つた」と振り返ると、白石主将は「日頃からの皆さんの応援やサポートが励みになります。選手たちにも伝わっています」と振り返ると、白石主将は「日頃からの皆さんの応援やサポートが励みになりました」と感謝の気持ちを述べた。大川市長からは、「台風被害や新型コロナウイルスなど暗いニュースが続いた」こと、新年早々、市民に明るいニュースを届けていただきました」と労いの言葉をいただきました。



△栃木県庁を表敬訪問





吾十有五にして学を志す △2年生 立志式

sky is the limit. “空に限界はない”という意味です。小学生の自分にもあれだけのことができた。皆さんにも無限の可能性がある。その可能性にどんどんチャレンジしてほしい」と生徒に語った。また、小中学校の恩師や仲間との今でも続く深い交流の様子を語り、「学校」という場所でしかできない、さまざまなお出会いの大切さを伝えていた。

その後、4名の代表生徒による立志作文の発表が行われた。(以下、要旨)

1月21日(金)の5・6限

恩師や仲間との集合写真を見

て、2年生の立志式が行われた。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止により、保護者の参列ではなく、学校関係者のみでの実施となつた。

式辞の中で青木学校長は、

自身が小学生の時、さまざまな参考書を調べたり雑誌の切り抜きを貼つたりしながら、原稿用紙何百枚にも及ぶ日本や世界の旅行記を書き上げた経験を語り、「The



山口 大颯さん(1組)

「僕は中学に入学するまであまり努力をしてきませんでした。そんな僕に、努力の大切さと結果についてくることの嬉しさを教えてくれたのが、中学受験でした。中学受験を経験していなかつたら、僕の人生は今

見えて、大人になる準備をしたいです」

(1組 山口 大颯)

「自分を取り巻いてきた周囲の環境を見つめ直し、将来の職業を考えてみると、飼育員や獣医など、動物にうな人になりたいと考えています。ラグビースクールでのキヤブテンやボーリングを最大限に引き出せるよ

うです」

(1組 山口 大颯)



伊藤 稲造さん(2組)

「僕は中学に入学するまでもう少し、僕の人生は今

見えて、大人になる準備をしたいです。学校や習い事などか

所、一番リラックスできる場所、一番安心できる場所です。学校や習い事などから帰って、1日の疲れを落とし、リフレッシュする場所です。外で嫌なことがあ

ります。とくに、家はいつでも逃げ込める場所、気持ちを落

ち着かせる場所です。家はありのままの自分でいられ

ます。外で嫌なことがあ

ります。とくに、家はいつでも逃げ込める場所、気持ちを落

ち着かせる場所です。家はありのままの自分でいられ

ます。外で嫌なことがあ

ります。とくに、家はいつでも逃げ込める場所、気持ちを落



記念図書を受け取る大沼栄菜さん(1組)



符 文媛さん(2組)

とは大きく変わっていたと思います。僕の将来の夢は弁護士になることです。テレビドラマがきっかけで、絶望的な状況から被告が、無罪を証明し、たくさんの人から感謝される。そんな姿に強く憧れます。弁護士になるためには、やはり勉強は欠かせません。全国模試偏差値60を目標に頑張ります。夢の実現に少しでも近づくよう、普段から人に感謝される行動を心掛け、これからは今までみた

いに目の前のことしか見な

いのではなく、先の未来を

見えて、大人になる準備をし

たいです」

(2組 伊藤 稲造)



松永 季和さん(1組)

た。小学校の頃はラグビー日本代表になりたいと考えていました。高校の先輩方のように全国大会に出場することも目標です。しかし、理想の職業ではなく、理想の生き方を追求することが大切であると気付きました。私はラグビーを通じ、目標に向かって努力しながら、苦しくても逃げ出され

ることも目標です。しかし、理想の生き方を追求することが大切であると気付きました。私はラグビーを通じ、目標に向かって努力しながら、苦しくても逃げ出され

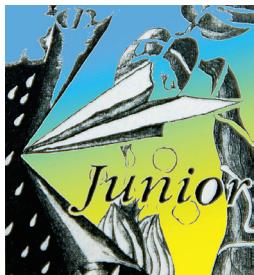
ることも目標です。しかし、理想の生き方を追求することが大切であると気付きました。私はラグビーを通じ、目標に向かって努力しながら、苦しくても逃げ出され

ることも目標です。しかし、理想の生き方を追求することが大切であると気付きました。私はラグビーを通じ、目標に向かって努力しながら、苦しくても逃げ出され

ることも目標です。しかし、理想の生き方を追求することが大切であると気付きました。私はラグビーを通じ、目標に向かって努力しながら、苦しくても逃げ出され

ることも目標です。しかし、理想の生き方を追求することが大切であると気付きました。私はラグビーを通じ、目標に向かって努力しながら、苦しくても逃げ出され

ることも目標です。しかし、理想の生き方を追求することが大切であると気付きました。私はラグビーを通じ、目標に向かって努力しながら、苦しくても逃げ出され



賞状を授与される

用いた全校朝礼が各教室で実施された。

まずは各種表彰が行われ、全国学力推移調査での「学校が樂しい」と感じている生徒の数が減少していることに触れた。『学校行事は減ってしまっているが、日常生活の中でお互いが認め合い、尊重し合うことが大切で、何かと一緒に乗り越えて絆を深め、生涯付き合っていく友人と学校生活を楽しんでほしい』と語った。

学校長講話では、全国学力推移調査での「学校が樂しい」と感じている生徒の数が減少していることに触れた。『学校行事は減ってしまっているが、日常生活の中でお互いが認め合い、尊重し合うことが大切で、何かと一緒に乗り越えて絆を深め、生涯付き合っていく友人と学校生活を楽しんでほしい』と語った。

重し合うことが大切で、何かと一緒に乗り越えて絆を深め、生涯付き合っていく友人と学校生活を楽しんでほしい』と語った。

重し合うことが大切で、何かと一緒に乗り越えて絆を深め、生涯付き合っていく友人と学校生活を楽しんでほしい』と語った。

重し合うことが大切で、何かと一緒に乗り越えて絆を深め、生涯付き合っていく友人と学校生活を楽しんでほしい』と語った。

全校朝礼

各種表彰

○第23回栃木県学校教育書写書道作品展

金賞
小笠原百香(1の1)
齋藤実菜弥(1の1)

押山理愛(2の2)
栃木美空(2の2)

西山詩菜(2の2)
市川奏太(1の1)

○栃木県理科研究展覧会
優秀賞

早川詩桜(1の2)
高森亜門(2の2)

河合諒斗(3の1)
濱野健(3の2)



繩文風の衣裳を着て授業を受ける

3年生短大連携授業

1月28日(金)に、3年生

を対象とした國學院大學栃木短期大学との連携授業が

短期大学の講義室において

実施された。この授業は毎

年実施されているもので、

年ごとに異なる短期大学教

員が授業を担当し、その内

容も歴史や文学、考古学な

ど幅広い分野からなる。

本年は「繩文土器の文様から新しい音楽を創ろう」というテーマで准教授の中村耕作先生、教授の早川富美子先生の授業を受けた。繩文土器の実物から文様の特徴を班ごとに相談し、繩文時代にありえた自然物

の感触や、木の実、鹿角などを用いて、土器のざらざらした感触や、渦巻や波などの文様を音で表現し、色々な音色やリズムを重ねて音楽を創つた。

初めはどんなことをする

のか想像できなかつた生徒

が多かつたようだが、「見た

ものをそのまま音として表

現することが、これほど楽

しいものだつたのだと実感

できた」との感想も寄せられ、新たな発見のある充実した時間を過ごした。

2月4日(金)、18日(金)生徒会館作法室で1年生を対象に茶道教室が行われた。生徒たちはそれまで茶道に接する機会も少なく、まことに茶道教室が行なわれた。また、茶道の一つひとつのお作には相手を敬う気持

に苦戦している様子も見られたが、生徒たちは楽しそうに茶道に親しんでいた。

また、茶道の一つひとつ

の所作には相手を敬う気持

ちなどが込められていて、

様々な所作を通して日本人

らしい氣遣いも感じることができ、生徒の精神的な成長につながつた。

座敷での作法を教わつた。座敷での作

1年生 茶道教室



お茶を点てる

教務日誌抄 中学

(2月)

1日(火)第3回学力推移調査

2日(水)全校朝礼 美化の日

4日(金)茶道教室(1年1組)漢字検定

12日(土)第1回新入生ガイダンス

16日(水)3年期末試験一部実

17日(木)～19日(土)3年期末試験 第3回英検2次

25日(金)茶道教室(1年2組)



道のしをり ⑬

「卒業試験」

菅又 和彦

地歴公民科

中学校では第三学年の卒業間際に海外での

ホームステイ語学研修が実施される。

その時の七十の瞳は灰色だった。成田での離陸の瞬間、少しでも故郷の方を見ようと窓を見ていた。着陸の地はユージーランドの第二の都市クライストチャーチ。エイボンの流れが美しい古都である。ここで二週間を過ごすために中学校第三期生は準備してきた。それはバスポートの取得から自己紹介書の提出、保険や通貨の準備。ネイティヴの先生との英会話、英検の資格取得など。でも本当に大切なのは普段の学校や家庭での生活指導である。

厳しく指導してきた。強い口調で生徒に迫つた。それがあつてのこの二週間である。

ホストファミリーとのコミュニケーションがままならず、泣いて訴える生徒もいた。でも生徒たちは誰一人として指導を受けず、しかしながら喉を通らない。部屋から出てこられない。ホストファミリーとの別れ際にじんだ涙は一生忘れないと心から祈つている。



道のしをり ⑭